



# 伏見板橋 後期 学校評価

令和4年3月1日

京都市立伏見板橋小学校 TEL 075-611-5158 FAX 075-611-5290  
校長 竹原 正樹 mail:itahashi-s@edu.city.kyoto.jp

2月に行った学校評価アンケートでは、多くの保護者の方々から回答をいただきありがとうございます。令和3年度も1年間、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた学校教育活動が現在も続いています。そのような中で「新しい学校づくり」「よりよい学校づくり」の為に学校評価を行いました。お忙しい中、保護者・地域の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。

保護者・地域の皆様、それぞれの立場からのご意見を集約することができました。この結果を教職員一同で共通理解し、よりよい学校づくりのために改善を図っていきたいと思います。結果の顕著な部分を取り上げ、考察等をご報告させていただきます。その他、ご不明な点や不安な点がありましたら、ご遠慮なく学校の方へお尋ね下さい。

		「学校教育目標」 夢をもち、自らの未来を創る 子どもの育成 ～考え 判断し 実行する～					よく出来ている				大体出来ている				あまり出来ていない				出来ていない				
							低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	高学年
目標	I	学校教育目標『夢をもち 自らの未来を創る 子どもの育成～考え 判断し 実行する～』をご存じですか。	44%	57%	17%	50%	80%	51%	37%	69%	50%	20%	13%	5%	13%	0%	0%	5%	1%	1%	0%	0%	0%
学習	3	子どもたちは、進んで家庭学習に取り組んでいますか。	34%	60%	37%	33%	20%	53%	30%	45%	67%	80%	10%	6%	15%	0%	0%	2%	3%	3%	0%	0%	0%
	6	子どもたちは、人に聞いたり、本やインターネットで調べたりして調べ学習をしていますか。	36%	49%	40%	33%	60%	46%	38%	41%	67%	20%	13%	11%	18%	0%	20%	5%	2%	1%	0%	5%	0%
	8	子どもたちは学校で習っていることが理解できますか。	66%	51%	32%	17%	10%	29%	46%	62%	83%	90%	4%	2%	6%	0%	0%	1%	1%	1%	0%	0%	0%
生活	11	子どもたちの友だち関係は良好ですか。	73%	76%	41%	43%	20%	24%	22%	55%	57%	70%	3%	1%	3%	0%	10%	0%	1%	1%	0%	0%	0%
	12	友だちを思いやる心や大切にする態度は見られますか。	55%	56%	47%	25%	40%	39%	38%	50%	63%	50%	4%	5%	3%	13%	10%	1%	2%	0%	0%	0%	0%
	13	高齢者や困っている人を見かけると、声かけや何らかの手助けをしようとしますか。	25%	16%	16%	14%	20%	36%	37%	51%	43%	60%	31%	35%	28%	43%	10%	9%	12%	5%	0%	10%	0%
健康	16	子どもたちは、朝ごはんをしっかり食べていますか。	78%	78%	74%	17%	40%	17%	18%	23%	83%	60%	3%	3%	0%	0%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%
	17	子どもたちに早寝・早起きの習慣はついていますか。	43%	29%	30%	29%	0%	38%	38%	41%	57%	80%	10%	21%	24%	14%	20%	8%	11%	5%	0%	0%	0%

**目標について**

『夢をもち 自らの未来を創る 子どもの育成～考え 判断し 実行する～』の目標のもと3年目の教育活動ですが、高学年の児童は前期に引き続き高い意識で学校教育活動を進められており、低学年においても前期に比べ20%以上も高い数値を示す結果となりました。

この結果は、高学年姿が低学年の具体的な目指す姿となっている証拠だと考えています。今、社会で求められているのは、「自ら課題を見つけ、それを解決する力」の育成です。その力に直結すると考えられる本校の学校教育目標の下、これからも板橋の子どもたちの育成に、保護者・地域の皆様とともに、我々教職員も全力で取り組んでいきたいとも思います。

**学習面について**

前期に続き低学年で95%，高学年で97%と高い水準で多くの児童が学習理解をできています。コロナ禍でも、子どもたちの学びが止まることなく進んでいることが伺えます。GIGAスクール構想も着実に進んでおり、高学年を中心にGIGA端末による家庭学習が進められたり、学級閉鎖中にオンラインで授業を進めたりしています。これから低学年でも随時進められていく予定です。今ではICTは先生が教えるための道具ではなくて、子どもが学ぶための道具、鉛筆やノートと同じ文房具となりつつあります。保護者・地域の皆様も子どもたちの学びが日々アップデートされる様子をご覧ください。またHP等でも様子を発信していただたらと思います。

**健康面について**

出口がなかなか見えない新型コロナウイルスとの戦いですが、子どもたちは日々の手洗いやマスク着用をしっかりと日常化することができており、感染予防対策を適切に行うことができています。そんな中、前期に引き続き早寝・早起きの習慣が身に付いている児童の低さが気になりました。3学期になり、多くの児童が自宅待機や学級閉鎖等で、突然学校を休まなければならなくなるという、生活習慣が乱されることがありました。自分でできる体調管理を今後も大事にしていくように、指導していきたいと思います。

**生活面について**

本年度、教職員全員で子どものへの関わりに重点を置いています。『子どもたちの友達関係』において、おおむね高い数値は出ていますが、100%ではないことに重きをおき、これからも教職員と児童とのかかわり、児童と児童との関りを大切にし、全児童が友だちとの関係が良好と思える学校にしていきたいと思います。そうすることが、すべての学校教育をよりよい方向に導くにつながると考えております。